

校長室だより

No. 27

平成28年11月11日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

ここに居る子供と先生でしかできない行事づくり ー修学旅行を終えてー

静寂とお香の漂う日没後の薄暗い禅堂には、58 人もの人があるにもかかわらず、その気配を感じない時間が流れていました。薄暗いお堂に響く「パンパーン、パンパーン」という音は、誰かが僧に合掌し、警策(けいさく・坐禅修行が円滑に進むように修行者の背中を打つ木)に打たれる音です。この音は、わずかに起こった揺れをおさえ、音のしたところを中心に心の揺れを静めていくようでした。厳しさはありますが、同時にありがたさを心にもたせます。すぐに静寂の世界がまたやってきます。



今年の修学旅行では、前回御紹介したように南禅寺(空雲寺)の坐禅体験を組みました。これは「今までにない修学旅行を作り上げたい」という熱い思いを持つ6年生の先生方が、企画・準備してくれたものです。この坐禅体験以外に、嵐山から太秦映画村まで自分たちの力で「雷電(京福電鉄)」に乗り、その2箇所を班で行動する時間も作ってくれました。子供だけで交通機関を使う移動は、「Aさんの買い物が終わっていないから待ってあげて」「この電車がいいんだよね」「切符は今買わなくても降りる時に払えばいいじゃない」「自分が降りる

時のボタンを押すよ」など、ある種の緊張感をもたらすとともに、協働・判断・折り合いの行動を生んでいました。

市内の小学校と何回か場を共にし、訪問する所に大きな違いはないと改めて思いました。しかし、活動の持ち方には違いがあり、そこに居る先生方の思いが作ることも再確認しました。今年はこの仲間ではかわからない一生

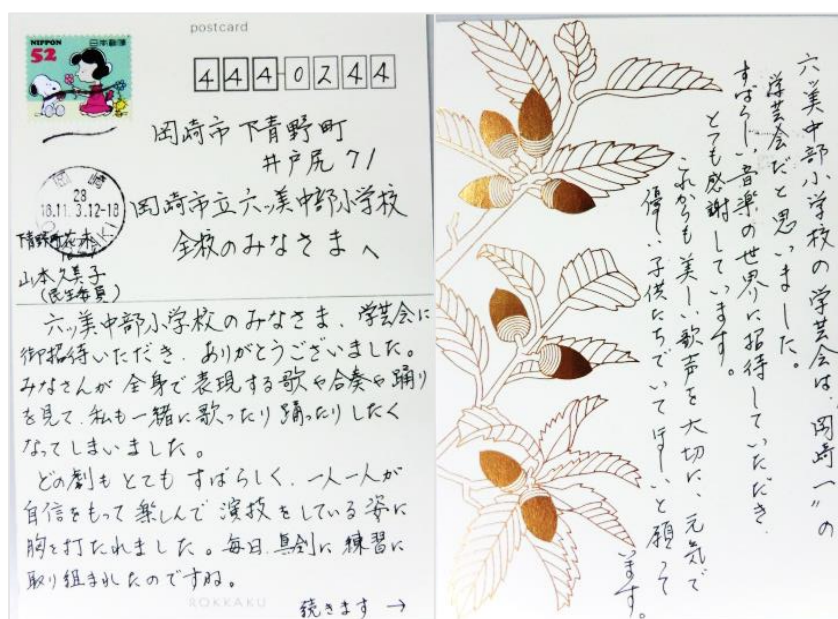
の宝物を持つことができたと思っています。

最後にもう一つ。出発前に、6年生は1年生から手作りのお守りをもらっています。この1年生の子のお守りを大切に携え旅行をし、全ての校舎の照明がつけられた学校に迎えられ、旅行を閉じました。



うれしいたよりが届いて ー学芸会を終えてー

学芸会が終わった今週、地域の方からうれしいお葉書きが届きました。保護者だけでなく、地域の方から子供へのおほめの言葉は、どれだけ子供の励みになることでしょうか。大変ありがたく思いました。集会の場で紹介させていただきました。この子供たちへのあたたかい眼差しは、「自分たちを大切に思っている人がいる」ことを子供が知ることになり、地域愛へとつながっていくものだと思います。



わたしたちは、ここに書かれた最後の言葉「これからも美しい歌声を大切に、元気で優しい子供たちでいてほしいと願っています。」の言葉をしっかり受け止めたいと思います。子供たちの励みになるおたよりに感謝します。

11月16日（水） 「県内一斉ノー残業デー」に取り組みます

愛知県は「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2016」と題し、仕事と生活の調和した社会の実現に向け、様々な取り組みをしています。そのひとつに、11月16日（水）の「県内一斉ノー残業デー」があり、職員は定時退庁（退社）をする取り組みです。本校も、この取り組みを行う予定です。

職員の勤務終了時刻は、16時45分です。御理解ください。